

特集 熱中症対策の新常識 工場・倉庫の遮熱

製造・物流現場での熱中症対策として「遮熱」が注目されている。遮熱とは太陽やストーブなどの熱を発する物体・機器から放たれる、赤外線などの電磁波によって伝わる熱（輻射熱）を遮断し、対象物や室内への熱の侵入を防ぐ技術や工法である。工場・倉庫における具体的な対策としては、遮熱シート・クロスを屋根や外壁に施工する、遮熱塗料を屋根などに塗布する、遮熱フィルムを窓ガラスに貼る、などがある。

軽視できない輻射熱

建物内が暑くなる原因としては、伝導・対流・輻射の3種類の熱移動が挙げられる。

伝導とは物質が接触している部分を通して熱エネルギーが分子から分子へ移動する現象である。また対流とは空気や水といった流体が移動して熱エネルギーが運ばれる現象のことで、隙間風、エアコンの送風などが該当する。そして輻射とは物質を介さず電磁波として空間を移動し熱が伝わる現象のことで、建物内外で

は太陽から屋根・外壁に届く輻射熱、また高温化した屋根材や外壁から室内側へ輻射されるエネルギーなどが同時に発生している。

従来、建物内の暑さ対策として用いられてきた断熱材は、主に伝導と対流によって運ばれる熱の移動を遅らせ室内への流入を抑える技術であり、輻射熱への対策としては不十分。遮熱で対策して、熱中症を予防しよう。



まるごとわかる!「遮熱」超入門



抽選で
20名様
プレゼント!

猛暑時代の新常識!

本書は、いま注目を集める「遮熱」をテーマに、熱の正体から、断熱との違い、建物内で起こっている見えない熱移動のしくみまでを、わかりやすく解き明かす一冊です。猛暑が当たり前になった時代にこそ知っておきたい、「熱」と暑さ対策の新常識。その答えが、ここにあります。

読者プレゼント!!

発売を記念して、読者の方抽選で20名様にプレゼントさせていただきます。応募は、はがきまたはFAX、インターネットにて日本遮熱までお願いいたします。

遮熱鋼板VENTルーフ工法

VENTルーフ
Ventilation Roof

省エネ50~60%実現!

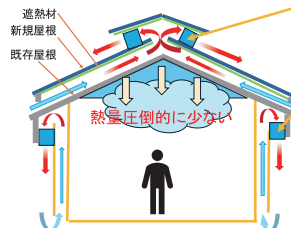
※足利大学試算

わずか3kg/m²の超軽量(耐震補強不要)
どんな屋根にも施工可能

遮熱鋼板VENTルーフ工法

形状記憶合金ユニット

形状記憶合金ユニット 耐久性が高い



夏、冬効果あり

- 28℃以上になると全閉
- 18℃以下になると全開

動画での書籍
紹介はコチラ



日本遮熱株式会社

〒326-0015 栃木県足利市八柎町388

TEL 0284-22-8740

FAX 0284-22-8741

fukushima@topheat.co.jp

資料請求番号 12609-01401